

学校だより

勿来二中

いわき市立勿来第二中学校

平成28年6月 6日(月)

発行責任者 校長 遠藤 晴美

第5号

中体連いよいよ始動！

～先陣を切って陸上部好記録残す～

5月31日(火) 6月1日(水) いわき陸上競技場で今年度のいわき市中学校陸上競技大会が開催されました。本校からは、男子21名、女子7名、合計28名の陸上競技部の生徒が参加しました。全ての選手が自分の記録に挑戦、好記録を残し、4名の入賞者が誕生し、3名の選手が7月5日(火)～7日(木)福島市で行われる福島県中体連陸上競技大会出場の切符を手に入れました。

今週、金曜日から開催される中体連総合大会へつながる素晴らしい結果です。



入賞選手「おめでとう！」

- 共通男子800M 優勝 秋山佑輝 (県大会出場)
- 共通女子砲丸投げ 2位 柴田百香 (県大会出場)
- 女子2、3年1500M 5位 大竹美緒 (県大会出場)
- 女子1年1500M 8位 五十嵐莉桜

「いのちの朝顔種蒔き」

～全校生徒で朝顔の種を蒔きました～

5月30日(月) 6校時 全校生徒と先生方で昨年度種取りし保管していた「いのちの朝顔」種蒔きを行いました。生徒会本部役員の運営で、校舎南側の花壇に種を蒔きました。例年夏には緑のカーテンが校舎南側を覆っています。



「いのちの朝顔」について

”いのちのアサガオ”は、平成5年白血病のため7才で亡くなった丹後光祐君が約3ヶ月間だけ通った小学校で大事に育てた”アサガオ”のことです。



おかあさんの「まみこさん」が、そのアサガオを育て続け「アサガオが親善大使となって、命の尊さ、白血病に苦しむ人がいることを知って欲しい」ことを願って多くの小中学校などに配られ、今では全国各地で花を咲かせています。

”いのちのアサガオ”を通して骨髄バンクを理解してもらうため”新潟・骨髄バンクを育てる会”が中心になって、”いのちのアサガオ”の種を配りました。

空の上から「おかあさん ぼくのアサガオ いっぱい咲いているね。」という光祐君の声が聞こえそうです。

本校では、10年以上前から「丹後光祐くんの命のアサガオ 緑のカーテン」活動を行ってきました。

P T Aの方々の協力を得て プール清掃実施



6月5日(日) 8時30分からPTA役員を中心に地域の方々のご協力も得ながらプール清掃を実施しました。体育後援会長の鈴木さんに準備していただいた高圧洗浄機などを使って、1年間の堆積物や落ち葉を取り除きました。体育の授業で実施するプールの時間が今から楽しみです。プールを有効に活用し、生徒の体力向上に努めます。